

令和4年度シラバス（理科）

学番 28

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	理科（生物基礎）	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	実教出版 生物基礎				
副教材等	実教出版 リードLightノート 生物基礎				

1. 学習目標

生物的な事物・現象について観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高める。また、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育てる。

2. 指導の重点

総合学科であることから
 ①生物学に対する興味・関心を高める
 ②生物学に対する知識・法則を深める
 ③生物学に対する探求心を育てる。

3. 指導計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5	第1章 生物の 特徴	1. 生物の共通性と多様性 2. 細胞とエネルギー	1. 生物の共通である細胞の構造や、進化における多様性について理解します。 2. 生命活動に必要なエネルギーを物質に出し入れするために光合成と呼吸があることを理解します。（実験）	第1回 考査までに 10h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、考査から総合的に判断する。
6 7	第2章 遺伝子と その働き	1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の分配 3. 遺伝情報とタンパク質の合成	1. DNA発見の歴史と、その構造を明らかにします。 2. 親から子にDNAを伝えるための手順を理解します。 3. DNAのもつ遺伝情報からどのようにタンパク質を読み取るのかを理解します。（実験）	第2回 考査までに 12h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、考査から総合的に判断する。
9 10 11 12	第3章 生殖の 体内環境 とその 維持	1. 体内環境 2. 体内環境の維持のしくみ 3. 免疫	1. 血液の組成、循環系、腎臓、肝臓の役割を解説します。（実験） 2. 自律神経、ホルモンによる血糖量、体温、塩分調節のしくみを解説します。 3. 外部からの異物侵入に対する防御方法を解説します。	第3回 考査までに 12h 第4回 考査までに 16h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、考査から総合的に判断する。
1 2	第4章 生物の 多様性と 生態系	1. 植生と遷移 2. 気候とバイオーム 3. 生態系と物質循環 4. 生態系のバランスと保全	1. 荒原、草原、森林と植物が移り変わる過程を解説します。 2. 世界、日本における植生を分類し、気候との関連を解説します。 3. 生物と環境との関連について解説します。 4. 人間社会が及ぼす環境問題について、考察します。	第5回 考査までに 20h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、考査から総合的に判断する。

計 70 時間（50 分授業）

4. 課題提出物等

- ・観察や実験にはレポートの提出を求めます。
- ・単元によっては小テストを実施します。
- ・その他、必要に応じてレポート提出を求めます。

5. 評価規準と評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価の観点	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けてようとしている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けてようとしている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けるようになっている。
評価方法	定期考査（中間考査・期末考査）・授業への取り組み方・提出物・出席状況等を考慮し、観点別に評価し、総合的に判断する。	定期考査（中間考査・期末考査）・授業への取り組み方・提出物・出席状況等を考慮し、観点別に評価し、総合的に判断する。	定期考査（中間考査・期末考査）・授業への取り組み方・提出物・出席状況等を考慮し、観点別に評価し、総合的に判断する。

6. 担当者からの一言

生物に関する基本的なことを日常生活と関連づけて学習します。常に主体的に考える姿勢を持ち、知識を元に考え・判断し表現できるようにしましょう。
 (担当 阿邊広美)